

# 進路通信 (大学出張講義特別号)

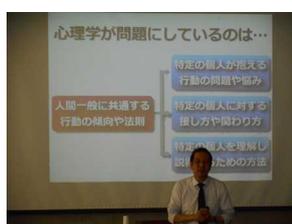
上野高等学校進路指導部 2015/7/17

## 文理・志望校決定特集 学問の魅力を大学の先生にお聞きました！

7月13日(月)に2年生対象に大学の先生方が出張講義が行われました。講師の先生方に「上野高校の生徒に向けてメッセージを」とお願いしたところ、快く引き受けてくださいました。学問の面白さ、高校時代にやっておくことについてお聞きしました。(紹介順は一般的な学問紹介の順に従っています)

川上 正浩 先生 (大阪樟蔭女子大学学芸学部)

専門…認知心理学



「この学問のここが面白い！」という点

心理学という学問は、人間の行動全てを取り扱う学問です。もちろん、人間は一人ひとり違う存在なので、全ての人間の行動を予測することは不可能です。しかしそれでも、人間には一貫した行動の傾向や法則があります。心理学の面白さは、この、全体性と個別性のせめぎ合いにあります。「ここまでは説明できる」「でもこの部分は個性でしか説明できない」「ではその個性はどこから生まれてくるのか?」と、問いが問いにつながり、好奇心をかき立ててくれます。

そして、自分のことを知ることができる、というのが心理学の面白い点です。人間一般の行動傾向について学ぶことは、自分の個性を知ることにもつながります。

もちろん、皆さんが将来どんな仕事に就くにしろ、そこには必ず「人間の行動」が関わってきます。そこでは心理学の知識は必ず役立ちます。面白いだけでなく、広く役に立つ学問、それが心理学です。

高校生の時にやっておくこと

本を読んでおくことだと思います。大学・社会においては、人を説得できる論理的文章を書けることが重要になります。綺麗な日本語の流れ、綺麗な論理の流れは、多くの良書を読むことによって自然に身につきます。また本を読むことは、ともすれば自分の考えに偏りがちになる我々にとって、「他者の視点」「他者からの見方」を与えてくれるものです。これは「自分を知る」ことにもつながります。必ずしも堅い本ではなくても良いので、綺麗な日本語の文章をたくさん読んでください。

稲垣 朋子 先生 (三重大学人文学部)

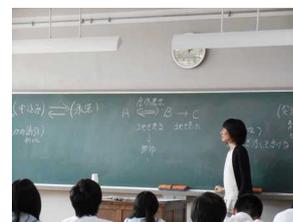
専門…民法。

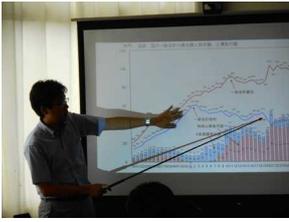
「この学問のここが面白い！」という点：

民法は日常生活に実は深くかかわっている法律なので、社会に出る前に勉強しておくのと役立つ部分も多いかと思います。色々な考え方・立場があるのですが、それを法的に筋道立てて(ゼミなどで)議論するのは大変面白いです。

高校生の時にやっておくこと：

大学での授業の一番面白いところは、ゼミだと思いますので、それに備え、自分の意見を述べたり、相手の意見を踏まえて意見を述べる訓練をしておいていただきたいと思います。





小川 亮 先生（大阪市立大学経済学部）

専門…地方財政論

「この学問のここが面白い!」という点

経済学は、景気や株価の予測、お金の研究というイメージが強いかもしれませんが、もっと様々な経済・社会の現象や人間の行動を考察している学問です。また、経済学は、世の中の多くの社会的通説がそれほど根拠をもったものでないことを明らかにしてくれます。

そのことが、より有効な政策を生みだし問題の真の解決につながりますし、経済学の研究に携わる者としては、悪趣味かもしれませんが個人的に痛快な気分に入れます。このような経済学的思考センスを身につけられると、より多角的な見方で経済や社会そして人間をとらえることができ、仕事や私生活に役立つものと思います。いろいろな入門書がありますので、まずはそれらのなかから自分にとってとっつきやすいものを一読してみてください。

高校生の時にやっておくこと

「戦略立案能力」とそれを実施するための「自己管理能力」を磨くことでしょうか。こうなったらいいなという目標を達成するには、思いついた手段をやみくもに実行するのではなく、いかに効率的にそれを達成できるかについて、その分野に詳しい人からの情報を収集し、得た情報を自分なりのやり方に落とし込んで実施するというプロセスを必ず踏むべきだと思います。そこでは戦略ノートみたいなものを作って、いろいろとアイデアや情報を整理したり、日々の時間の使い方を記録し反省するなどしてセルフコントロールするといいでしょう。とはいえ、はじめは簡単でなく失敗の連続になると思います。しかし、その失敗がなぜおきたかをよく考えた結果、戦略を手直し、再度実行する。そのことがだんだんとゆるぎない能力を育て、今回私が講義したような厳しい日本の未来 (>\_<) をサバイバルできることにつながると思います。高校生にとっては受験がその実践の場のひとつかもしれません。受験のプロである高校の先生に恥ずかしがらずに相談しながら、是非、戦略的受験生活を楽しんでください。

西端 律子 先生（畿央大学教育学部）

専門…教育学

「この学問のここが面白い!」という点：

- ・誰でもが「受けた」ことのある教育
- ・どのような仕組みで、どのように教えられたのかを学んで自分で実践できる点

高校生の時にやっておくこと：

- ・色々なことに興味をもつ
- ・誰とでもコミュニケーションをとれるようにする
- ・人前で話すことに慣れる



鷹岡 貞夫 先生（大阪大学理学部）

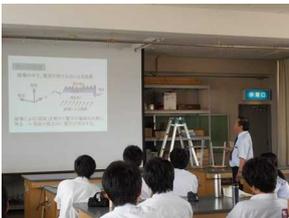
専門…物理学

「この学問のここが面白い!」という点

物理は自然科学の基礎です。研究分野も宇宙からミクロの世界まで多様性に富んでいます。多くの現象が「なぜ」そうなるのか基礎から考えて見るのも楽しいと思います。

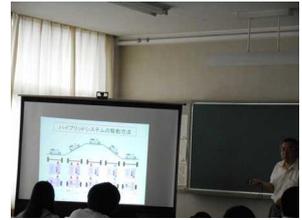
高校生の時にやっておくこと

高校の物理では教科書を丁寧に読んでください。かなり多くのことをわかりやすく説明しています。受験ではある程度、パターンを覚えるのも仕方がないかもしれませんが、直観力も大切です。



丸山 直樹 先生 (三重大学大学院工学研究科機械工学専攻)

専門…機械工学



「この学問のここが面白い!」という点

工学は、我々の生活を豊かにする製品を研究開発し、製品化する学問と考えています。たいへん幅広い分野で、普段何気なく使っている身近な生活用品から航空宇宙まで、あらゆるものが工学により作られ活用されています。普段、不便だと感じることを便利にする物品の開発など、考えが具体化できることもやり甲斐があります。

高校生の時にやっておくこと

・学業の観点では、

工学系への進学を希望するのであれば、数学(特に微積分)と理科系(学科によって異なるので、志望学科に適す科目。たとえば、機械工学の場合には物理)をしっかりと修得する。入試(大学合格)のためには、得意な科目で得点を取れば良いが、適切な科目を修得していないと、入学後に授業について行けなくなる可能性が高い。強いては成績不振、希望の就職先に入社できない、等につながっていく可能性がある。

・普段の生活では、

いろいろなことに興味を持って、自身の「引き出し(知識と経験)」を増やしてほしいと考えます。前述のように、工学では新たなものを開発することが多々あります。これは、開発者の過去の経験や知識を組み合わせることで新たな物事を発想することになります。このことは、大学に入学してからでも修得できますが、できるだけ早い段階から意識することが望ましいと思います。



山崎 尚美 先生 (畿央大学健康科学部)

専門…老年看護学

「この学問のここが面白い!」という点

人(人間)を対象とするので、原理原則はありますが、“これ”という答えはなく(人によって違うこともあるので)、その対応方法を考える事が面白い学問です。また、社会医療の変革に対応することができるように看護・施策(世の中)を変えていくことが面白い点です。

白い点です。

高校生の時にやっておくこと

- ・家でお手伝い(掃除・洗濯・炊事)をしっかりとする
- ・毎日、本・新聞・ニュースをしっかりと読み、聞き、自分の考えをまとめておく→社会の情勢を把握しておく

吉松 隆夫 先生 (三重大学大学院生物資源学研究科 生物圏生命科学専攻海洋生物学講座 浅海増殖学研究室)

専門:水産増養殖, 海洋生物学

「この学問のここが面白い!」という点

日本は海洋国家で海洋の持続的利用の大きな責任を持ちます。又海洋の生物を利用して今人類が抱えている食料, エネルギー, 医療など大きな問題のかなりの部分が解決可能です。そのような海洋生物の新しい利用法の研究を三重大学の生物資源学部でやってみませんか?

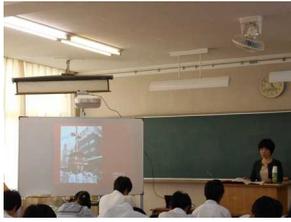
高校生の時にやっておくこと

多くの本を読んでいろいろな物に広く興味を持ってください。私が若い頃は最低一週間に一冊は読めと言われました。年をとって振り返ると確かに良いアドバイスでした。



三枝 暁子 先生 (立命館大学文学部)

専門…日本中世史



「この学問のここが面白い!」という点

一見「定説」と思われているような歴史イメージが資料の掘り起こしによって覆され、過去そして現在の見え方に変化を与える点

高校生の時にやっておくこと

関心を持った人物や事件、その他の歴史事象について書かれた本をいくつも読み、1つの事実が様々な方法や解釈に拠って説明されていることに気付いてほしい。

北川 眞也 先生 (三重大学人文学部)

専門…人文地理学

「この学問のここが面白い!」という点

地理学の面白いところは、世界に、世界の広がりや深さに触れられるところです。世界は人・モノ・情報などが様々な流動することで成り立っていますが、それらがどのように交わり、新たな世界をつくっているかを考えられることです。あとは、興味のある地域に行っているいろいろ調べられることです。

高校生の時にやっておくこと

日本社会を含めて、世界でどんな出来事が起こっているかを少しでもいいので目を向けてみることです。きっとそれらの出来事もみなさんの生活・将来と無関係ではないはずです。



参加生徒の感想から…

- ・テレビでよく見かける液体窒素を目の前で体験できて面白かったです。また機会があれば実験をしてみたいです。(理学)
- ・実際の大学のような体験ができて、大学ってこんな感じなんだなと思った。写真や票がたくさんあったので、内容が理解しやすかった。今やりたいことをやるべきだという言葉が心に残った。(看護学)
- ・ウナギの卵や稚魚の写真などを見ることができたり、どんなふうにして養殖をしているのか詳しく知れてよかったです。(農学)
- ・出てきた言葉を記憶するときに、関連付けて覚えていたら、案の定虚記憶というものに引っかかってしまいましたが、身を持って虚記憶とはどんなものか体験できて良かったです。(心理学)
- ・買い物をするうえでの参考になったし、これから生きていくうえでの重要なことなですごく良かったです。(法学)
- ・とても内容の濃い話だったので、時間が過ぎるのか早く感じた。もっとこの社会の経済の仕組みについて知りたくなった。(経済学)
- ・先生になりたいと言っても、情報の授業が必要になるということが驚きだった。機械に強くなるのは今からでもできると思うからやりたいと思う。大学に入る前から準備できることがまだまだあるから備えたい。(教育学)
- ・今自分が志望している学部だったので、話の内容が興味深いものばかりで楽しかった。身近にあるものを題材としてより詳しく知ることによっていろいろな問題が見えてきて面白かった。大学の授業にも興味がわいた。(工学)
- ・観光と歴史保存をどうやって両立していくのかについて、これから考えていかななくてはならないなと思いました。でも観光を進めることで新たな日本の文化を創造していくことに繋がっていくと思うので、ある程度は推進すべきだと考えます。しかし、同時に昔から続く日本の伝統を守りそれを発信しなければならないと思います。(歴史学)
- ・今までグローバル化と言われたら、少し遠いものだと思っていたし、良いことばかりあるものだと思っていたけど、身の回りにグローバル化はあふれているし、問題点もたくさんあるんだなと思いました。(地理学)

\*ご協力いただきました先生方にはこの場をお借りして感謝の意をお伝えしたいと思います。ありがとうございました。